

「言語インテンシブコース」とは、所属する学類の学びを越え、特に身につけたい語学（英語、中国語、韓国語等）を集中的にトレーニングすることで、言語リテラシーを育むコースです。

1. 履修方法

○選抜条件・方法（英語コース）

「英語アチーブメントテスト」（4月上旬オリエンテーション時）の受験を条件とし、希望者の中から、10名程度を選抜する。

○選抜条件・方法（中国語コース・韓国語コース）

「韓国語Ⅰ」および「韓国語Ⅱ」、あるいは「中国語Ⅰ」および「中国語Ⅱ」の単位を修得したことを条件とし、当該科目の成績等を考慮に入れて、希望者の中から15名程度を選抜する。

○手続き

言語インテンシブコースを希望する際には、ガイダンスに出席し、選抜条件を満たしていることを確認のうえで、「履修願」を教務課へ提出してください。選抜条件を満たさない場合には履修願は自動的に破棄されます。なお、選抜後に履修放棄をしたい場合にも「履修放棄願」の提出が必要となります。

2. 修了

定められた要件の単位修得をした学生に「言語インテンシブコース修了証書」を授与します。

3. 授業科目及び修得要件

○英語コース

[必修科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
A	Listening and Speaking I	1	②	16 単位	区分 A の科目をすべて履修し、Listening and Speaking IV および Reading and Writing IV の単位を修得しなければ、区分 B の履修は認めない。
	Listening and Speaking II	1	②		
	Listening and Speaking III	1	②		
	Listening and Speaking IV	1	②		
	Reading and Writing I	1	②		
	Reading and Writing II	1	②		
	Reading and Writing III	1	②		
Reading and Writing IV	1	②			
B	Essay Writing I	2	②	16 単位	区分 B のすべての科目を履修し、Essay Writing II、Intensive Reading II、Oral Communication IV の単位を修得すれば、本コースの修了を認める。
	Essay Writing II	2	②		
	Intensive Reading I	2	②		
	Intensive Reading II	2	②		
	Oral Communication I	2	②		
	Oral Communication II	2	②		
	Oral Communication III	2	②		
Oral Communication IV	2	②			

※上記区分 A・B はキャップ制（履修登録単位数の上限設定）に含まれません。

[推奨科目] (人文社会学類のみ)

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
学類専門科目	英語表現法	3	2	-	コース修了後にも、継続的な英語学修が可能となります。
	英文法	3	2		
	英語音声学	3	2		
	英語発音・聴解演習	3	2		
	異文化コミュニケーション学	3	2		
	英米文学論	3	2		
	英米文学演習A	3	2		
	英米文学演習B	3	2		
演習科目	メディア英語研究	4	2	-	継続的な演習科目(英語ゼミ)となり、さらなる英語学修や教職免許取得へ向けたトレーニングとなります。
	総合実践・演習Ⅰ	3	2		
	総合実践・演習Ⅱ	3	2		
	卒業研究Ⅰ	4	3		
	卒業研究Ⅱ	4	3		

[推奨科目] (全学群向け)

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
言語コミュニケーション科目	英語リーディングⅡ	1	2	-	教養教育科目の中のコモンベーシックス科目から左記科目を選択し、さらに英語を学ぶことができます。
	英語コミュニケーションⅡ	1	2		
	英語リスニング	2	2		
	英語ライティング	2	2		
	実践英語A(英語で学ぶ文化)	3	2		
	実践英語B(英語プレゼンテーション)	3	2		
	実践英語C(資格試験)	2	2		

○中国語・韓国語コース 授業科目及び修得要件

[必修科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
A	韓国語Ⅰ	1	②	4単位	どちらかの語学Ⅰ、Ⅱをセットで履修。
	韓国語Ⅱ	1	②		
	中国語Ⅰ	1	②		
	中国語Ⅱ	1	②		
B	実践韓国語会話Ⅰ	2	②	8単位	どちらかの語学をⅠ～Ⅳまで履修。区分Aを履修し、単位を修得しなければ区分Bの履修は認めない。
	実践韓国語会話Ⅱ	2	②		
	実践韓国語会話Ⅲ	2	②		
	実践韓国語会話Ⅳ	2	②		
	8単位	実践中国語会話Ⅰ	2	②	
		実践中国語会話Ⅱ	2	②	
		実践中国語会話Ⅲ	2	②	
		実践中国語会話Ⅳ	2	②	

※上記区分Bはキャップ制(履修登録単位数の上限設定)に含まれません。

[推奨科目]

区分	授業科目名	開講年次	単位数	修得要件	備考
演習科目	多文化社会演習A(中国・韓国等)	3	2	-	コース修了後に履修することで、より実践的な語学力を身につけて、現地実習に臨むことができる。
	多文化社会演習B(中国・韓国等)	3	2	-	

※但し、言語インテンシブコースについては、履修登録の内容によっては受講が難しい場合があります。